

Windows/Mac両対応分野で、ネットワークセキュリティツールシェアNo. 1

SOX法対応 コンテンツウォッチャー・スマート 業界初！ Mac OS Xレパード対応新版発売開始

株式会社インテリジェントワークス(本社:東京都渋谷区、代表取締役 神山邦彦)は、2008年3月14日より、PC操作ログ監視・IT資産管理統合ツール『コンテンツウォッチャー・スマート』の新バージョン(Ver. 1.2)を、Mac OS Xレパード対応版をラインナップに加え、発売開始します。

『コンテンツウォッチャー・スマート』は、日本版SOX法/プライバシーマーク/ISO27001に対応した、PC操作ログ監視ツールです。

常日頃は目立たない存在ですが、個人情報漏えい事件がひとたび起こると、その防衛手段として、あるいは原因探求のために威力を発揮します。同様に来る4月の日本SOX法施行を目前に、注目率が高まり、現行版の受注高は2008年に入り5倍となっております(当社前年比)。

『コンテンツウォッチャー・スマート』は、Windowsはもとより Macintosh(9及びX)にも対応していることも大きな特長です。同種のソフトウェアにおいて、Macクライアントに対応する製品は他に類がありません(備考欄参照)。そのため、日本SOX法施行目前にして、ようやくITまわりの内部統制に着手し始めたMac導入各社より、現在『コンテンツウォッチャー・スマート』に駆け込み需要が相次いでいるのです。

備考:『コンテンツウォッチャー・スマート』と同種のソフト(PC操作ログ監視・IT資産管理統合ツール)において、Windowsはもとより Macintosh(9およびX)の両方に対応した製品はないという表記については、“Mac”と“ログ監視”・“IT資産管理”“SOX法”等のキーワードを組み合わせるWeb検索した結果に、他製品が見つからないことを根拠としています。

今回のバージョンアップにより『コンテンツウォッチャー・スマート』に追加された機能及び、製品概要は以下のとおりです。

■コンテンツウォッチャー・スマートVer. 1.2の新機能

1. PC外部持ち出し時(オフライン時)のログ(使用履歴)まで監視し、サーバ接続時に保存

外出等で、コンテンツウォッチャー・スマートから一旦切り離れた状態の操作履歴も、再接続時に読み込み、ログとして記録・保存します。

2. ログの記録時には暗号化して、サーバへ送信。情報漏えい防止機能をより強化

各クライアントPCの使用状況はログとしてすべて記録・保存されます。保存先へのサーバに転送される際、ログ情報(ログパケット)は暗号化され、転送中にデータを盗み見られることはありません。

3. MS-OfficeやAdobe社製品のプロダクトID管理により、資産管理機能を強化

ライセンスの不正使用がないか、登録プロダクトIDの管理により監視します。

4. クライアントPCの対応OSに、Mac OS XレパードとWindows VISTAを追加

従来より、Mac OS 9(9.0.4以降)及び同X(10.3.9以降)。

5. 管理・監視用サーバに、Windows2003とMac OS Xレパードサーバを追加

■コンテンツウォッチャー・スマートの特長

1. 世界初！ Mac／Windows両対応のログ監視ツール

プライバシーマークや日本SOX法に対応義務のある企業に必須の、ファイルサーバログ監視は、Windowsに比べて、Macは技術的に難易度が高いと言われています。そのせいか、Mac対応のファイルサーバログ監視ツールは、弊社が調査したところ、どこにも見当たりませんでした。そこで、MacOS9及びX、Windowsに対応したログ監視ツールを、インテリジェントワークスが開発したのです。

2. 社内のIT資産管理を、自動で定期的実施

社内で稼働中の全PCに、いつ、どのようなアプリケーションソフトがインストールされたかといった資産情報を、自動で記録。資産管理台帳が、設定したスケジュールに応じて作成／更新されます。

3. 任意ソフトの使用禁止設定により、不正アプリケーションのインストールを防止

特定ソフトを使用禁止設定すると、社内の誰かのPCに、禁止設定されたソフトがインストールされた時点で、システム管理者にアラートが届きます。

使用の仕方次第では、情報漏えいの元となりかねない、ファイル交換ソフト(WinnyやCabosほか)等の流入を検知します。

4. 社内のITシステムのセキュリティ状況を、グラフや数値で把握できる

プライバシーマークや日本SOX法に応じた、さまざまなセキュリティ管理機能を備えるコンテンツウォッチャー・スマートの監視／管理画面はグラフや数値で構成されています。社内のセキュリティ、内部統制状況を、直観的に把握できます。

5. USBメモリほか、外部デバイスによる情報漏えい防止にも対応

社内のPC内の情報(データ)を、USBメモリや外付け型MO、FD、CD-Rなどで持ち出されることがないように、そうした外部デバイスが抜き差しされた段階で管理者に警告通知が届きます。

6. 日本SOX法、プライバシーマーク、ISO27001用内部統制報告書を自動作成

コンテンツウォッチャー・スマートにより記録される、さまざまなレポートは、PDF形式(改ざんができない状態)で保存できます。これらは、そのまま日本SOX法、プライバシーマーク、ISO27001用内部統制報告書に適用できます。

7. 不審な挙動は、発動前後も含め、状況をスクリーンショット状で保存

予め設定した「不審な挙動」が、社内のPCに見受けられた場合、その模様を挙動が起こる前後も含め、自動的にスクリーンショットに収められます。このスクリーンショットは、情報漏えい事件などが起きた際の原因究明に威力を発揮します。この機能は、コンテンツウォッチャー・スマートが社内の全PCの稼働状況を、常時スクリーンショットで追いつけていることで実現します。

8. 万が一の情報漏えいにも、トレース機能で犯人を即追跡

万が一情報漏えいが発生してしまっても、漏えいデータの足跡を追跡調査(ファイルパスを使用)できるため、犯人の特定が容易です。ネットワークの足跡を改ざんしたり、漏えいデータをサーバからPCに移動させるなどの行為があっても、全行程をさかのぼって追跡調査します。

■コンテンツウォッチャー・スマートの販売対象

1. プライバシーマークやISO27001、日本SOX法の対象となる企業
2. 印刷業や広告代理店、デザイン事務所等、業務にMacを利用、あるいはWindowsと混在で利用している企業

■提供形態

1. ソフトウェアライセンスとして提供
2. 各クライアントPCにインストールするアプリケーションとそれらのログを収集／記録するサーバにインストールするアプリケーションの2点で1セット

■年間予定販売ライセンス数

2万ライセンス

■販売価格

コンテンツウォッチャー・スマート

PC台数あたり単価(1クライアントPCあたり):

Mac版 1万9800円～ Windows版 9800円～

管理サーバライセンス(1サーバあたり):148万円

■対応 PC

Macintosh OSX(10.3.9以降／10.4以降／10.5以降)

Macintosh OS9(9.0.4以降)

Windows XP Professional／Windows 2000 Professional

Windows VISTA

■対応サーバ

Macintosh OSXサーバ(10.4以降／10.5以降)

Windows 2003サーバ

Linux Red hat 4.0以降

■製品ホームページ(コンテンツウォッチャー・スマート)

<http://www.cwatcher.jp/smart>

■開発／販売

株式会社インテリジェントワークス(〒150-0036 東京都渋谷区南平台町2-13 南平台大崎ビル3F)

<http://www.intelligentworks.co.jp/>